

研究タイトル：

**地震災害の防災・減災に関する研究**



氏名： 廣瀬康之 / HIROSE Yasuyuki E-mail: hirose@gifu-nct.ac.jp

職名： 准教授 学位： 修士(工学)

所属学会・協会： 土木学会、日本機会学会、日本建築学会、情報処理学会

キーワード： 都市防災・国土開発・国土整備・地域計画・地震対策

技術相談

提供可能技術：

- ・地震防災・耐震・制震構造
- ・GIS・ITSを利用した社会基盤整備に関する研究
- ・側溝や舗装などの道路構造の解析・実験・評価
- ・景観評価と景観まちづくり

**研究内容： ITC・フィールドワークにより安全安心で快適な都市の仕組みを作ります！**

①震災復興まちづくりに関する研究

日本は地震や水害等災害の少ない地域です。被災地の復興および今後の災害復旧復興に役立てることを目的として、被災地における震災復興まちづくりを中心に、各地の地震前から復旧・復興にかけての状態や防災減災に関する取組を調査し検討していきます。

②防災減災のためのGIS活用に関する研究

防災減災のためにGIS（地理情報システム）を活用し、道路、鉄道、堤防など社会基盤の現状、特に損傷・被害状況を容易に登録でき、迅速に対応ができるようなシステムを開発します。岐阜県には統合型ウェブGISがあるので、これを活用しながら、現在急速に普及している携帯情報端末への対応を考慮し、システムを改良していきます。



岐阜県と共同で開発した防災情報システム  
iOS版アプリケーションの画面  
(実証実験の後、実運用に至っている)

③携帯端末を利用したガイドによる地域活性化

スマートフォンに代表される携帯端末等を利用した情報案内は、日々進化の一途を辿っています。地域の歴史的景観的なコンテンツを提供できるシステムを開発し、その地域を訪れた人の行き先案内や知識の習得など、地域活性化に役立つ現地実験による検証・考察を行い、よりよいシステムを提案していきます。なお、力学的アプローチとして、耐震・制震モデルの解析や実験から考察します。また社会システムとして被災地調査および復旧・復興支援にはNPO・行政等と協力して活動しています。

④道路構造・側溝・舗装構造に関する実験的研究

環境に配慮した道路構造として、騒音、地球温暖化やヒートアイランドの対策を考えます。新型U字側溝（リボン側溝）をはじめ、透水性、保水性、排水性を考慮し、企業と協力し数件の特許取得&出願中の案件もあり、基礎的データを揃え検証します。

⑤景観まちづくりに関する研究

国土交通省では景観緑3法が平成16年に、歴史まちづくり法が平成20年に制定となり、また文化庁では重要文化的景観の選定制度が平成16年の文化財保護法の一部改正により始まり、景観まちづくりはますます重要となってきています。

これについて、岐阜市や金沢市などの特定の地域あるいは諸外国との差異を現状調査、文献調査から景観の構成要因について現地調査、景観シミュレーションによる景観評価や将来的な景観予測などについて研究を行います。

⑥都市公園のあり方に関する研究

従来公園の整備は、公園の種類・分類・三種の神器と呼ばれる遊具などの国の規定がありました。近年、各自治体で独自の整備ができるようになってきています。今後の都市公園の整備のあり方について、岐阜市および金沢市で実施したアンケート集計を基に資料収集し検討をしていきます。

**提供可能な設備・機器：**

名称・型番(メーカー)	
大変位地震動再現試験装置 (サンエス)	
地震動・建物挙動再現ツール マイホームぶるる (THK)	
Arc GIS Network Analyst, Spatial Analyst (ESRI)	